

市民フォーラム21 第4回 都市整備部会 次第

日時：平成22年11月29日（月）

午後3時00分～午後5時00分

会場：市役所 第2庁舎10階 会議室19

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第3回 都市整備部会 会議概要について
- 4 市民フォーラム21 第3回 都市整備部会 ワークショップまとめについて 資料1
テーマ：政策6 - 1 いきいきと暮らせるまちづくりの推進
- 5 本日の日程等について 資料2
- 6 ワークショップ
テーマ：政策6 - 2 まちを結ぶ快適なネットワークの形成
- 7 その他
(1) 今後の予定について
- 8 閉会

資料

資料1 市民フォーラム21 第3回都市整備部会 ワークショップまとめ（案）

テーマ：政策6 - 1 いきいきと暮らせるまちづくりの推進

資料2 市民フォーラム21 都市整備部会 ワークショップ開催日程及び参加者

次回の予定

日時：平成22年12月27日（月） 午後3時～午後5時 会場：市役所第2庁舎10階講堂

持ち物：第四次長野市総合計画、第四次長野市総合計画 前期基本計画の現況と課題（都市整備分野）

これまでに配布した資料

市民フォーラム21 第3回都市整備部会 ワークショップまとめ(案)

日時	平成22年11月8日(月)午後3時00分	会場	市役所第二庁舎10階会議室19
政策	いきいきと暮らせるまちづくりの推進		
6-1			

分類の記号 W :ワークショップで検討された意見

K :次席者又は審議会委員(他作業部会所属)の意見

要約(案)

作業部会意見まとめ(案)

行	大項目 項目	分類
1	交通(移動)手段	
2		
3	新幹線があるので、東京へのアクセスが容易である。	W
4	高速道路があるので、行動範囲が広い。	W
5	地域内の移動性が十分に確保されていない。	W
6	市内の観光地・オリンピック施設等を巡る交通機関がない。	W
7		
8	環境に適する、安全が確保できる自転車道等が不足している。	W
9		
10	街並み・景観	
11		
12	中央通りの善光寺に向かう世界に二つとない景観を大切にす配慮が感じられない。	K
13	借景まで含めた保全すべき景観に対する、開発行為には、規制措置を講ずる。	K
14	善光寺の門前町であることをもっと前面に出す。	W
15	善光寺の門前町らしく、中央通りの商店街の建物を黒・白色に統一する。	W
16	長野駅から善光寺までの間を、善光寺の参道として整備する。	W
17	松代地区等で、歴史的な景観整備が行われている。	K
18	松代等で、旧町名の復活に向けた動きがある。	W
19		
20	景観賞を設け、市民にもアピールする取組がされている。	K
21	街並みの保全・景観の統一を図るため、地区としてのルールづくりが必要である。	W
22	中心市街地の一部や郊外では、景観上統一感がない。	K
23	景観整備に積極的に取り組む住民がいる地域や、交流人口の増加が期待できる歴史的な観光地等、景観整備による効果が見込まれる地域を優先して、景観整備を進める。	K
24	看板・広告物に対する自主的な規制が必要である。	W
25		
26	長野市の自然と街並みに調和がない。	W
27	景観に配慮し、用水を活用したまちづくりが必要である。	W
28		
29	「~通り」などと点散している文化財を集中・広報し、歩いて楽しめるルートを案内する。	W
30	回遊できる街並みを形成する。	W
31	昔ながらの風情をいかした小路・路地の整備が必要である。	W
32		

新幹線 高速道路がある。
地域内の移動手段が不十分である。
市内の拠点を巡る交通機関がない。

地域内 拠点間の移動手段の充実、
利便性の確保

自転車道等が不足している。

自転車道等の整備

善光寺の門前町である。
中央通りは、善光寺の参道として整備する。
松代等で、歴史的な景観整備が行われている。
旧町名の復活の動きがある。

善光寺門前町 松代等、歴史をいかした街並み・景観の整備と保全

地区ごとに街並みの保全・景観の統一が必要である。
景観整備の効果が見込まれる地域の整備を進める。
看板・広告物に対する規制が必要である。

街並みの保全・景観の統一のための、
地区ごとのルールづくり
計画的な景観整備

自然等と街並みの調和がない。

自然等と調和した街並みづくり

文化財が点散している。
歩いて楽しめるルートを案内する。
風情をいかした小路・路地の整備が必要である。

回遊できる街並みの形成

資料 1

分類の記号 W :ワークショップで検討された意見
 K :次席者又は審議会委員 (他作業部会所属)の意見

要約 (案)	作業部会意見 まとめ (案)
--------	----------------

政策	いきいきと暮らせるまちづくりの推進		分類
6-1	大項目	項目	分類
33	長野地区	中心市街地	
34			
35		中心市街地がどこなのか、その範囲が分からない。	W
36			
37		中心市街地活性化基本計画を早期に策定し、全国的にも高く評価されている。	K
38		中心市街地活性化基本計画の成果が十分に上がっていない。	K
39		市が中心市街地活性化に積極的に取り組んでいることが、市民に十分に伝わっていないので、事業への参画が特定の市民に限られている。	K
40		中心市街地の重要性や、市の取組について、市民に積極的に伝えていく。	K
41			
42		長野駅前A-3地区市街地再開発ビルが、歩道を含め、きれいに完成した。	W
43		TO GO、長野駅前A-3地区、ぱていお大門の再開発事業は成功している。	W
44		中心商店街の活性化と再開発事業が結びついていない。	W
45			
46		長野駅前に若者の集まる場所が少ない。	W
47		若者の集える場所・遊び場等が不足している。	W
48			
49		まちなか居住について、積極的な施策を実施し、中心地の人口増加で活性化を図る。	K
50		高齢者の住宅・施設は、市街地の便利な所にシフトする。	W
51			
52		長野駅から善光寺へ向けての中央通りの活性化が必要である。	W
53		中央通りは、シャッター店舗・空きテナントが多く、人通り・活気がない。	W
54		まちなかが寂しい状況にあり、特に権堂通りなどが空洞化している。	W
55		中心商店街の再生は、今がラストチャンスである。	W
56		まちなかで、空家が多いので、商家の在宅を進める。	W
57		中央通りの空きテナントを利用した街並みキャンパスを実施する。	W
58		長野駅前の空き店舗を若者向けに活用する。	W
59		市の総合窓口を中央通りに設置する。	W
60		中央通りを一般車禁止にし、乗降自由なトロリーバス・チンチン(路面)電車を運行する。	W
61		トロリーバスを長野駅から善光寺まで走らせる。	W
62		人力車を取り入れる。	W
63		貸自転車(無料)を長野駅前に設置する。	W
64		市街地の活性化にもなる善光寺の南側(表側)に観光バス等の駐車場がない。	W
65			
66		善光寺の南側(表側)に駐車場を作り、中央通り経由の善光寺までの導線を整備する。	W
67			

<p>W } 中心市街地の範囲が不明確である。</p> <p>K } 中心市街地活性化基本計画は、全国的にも高く評価されている。中心市街地活性化に関する市の積極的な取組が、市民に十分に伝わっていない。中心市街地活性化基本計画の成果が十分ではない。</p> <p>W } 再開発事業が実施されている。</p> <p>W } 中心商店街の活性化と再開発事業が結びついていない。</p> <p>W } 長野駅前に若者の集まれる拠点がない。</p> <p>K } まちなか居住に関する積極的な取組を実施する。</p> <p>W } 中央通りの活性化が必要である。</p> <p>W } 中央通り 権堂に、シャッター店舗・空きテナント・空家が多く、人通り・活気がない。</p> <p>W } 中央通り等の移動手段の多様化が必要である。</p> <p>W } 善光寺の南側に観光バス等の駐車場がない。</p> <p>W } 中央通り経由の善光寺までの導線を整備する。</p>	<p>} 中心市街地の範囲の明確化</p> <p>} 中心市街地活性化基本計画の進捗 中心市街地活性化に関する市の取組等の分かりやすい広報</p> <p>} 再開発事業と商業の一体的な取組 まちづくりの全体象を見据えた再開発の推進</p> <p>} 若者等の交流拠点の整備</p> <p>} まちなか居住に関する取組の実施</p> <p>} 中央通り等、まちなかの活性化に向けた、 空き店舗等の活用 移動手段の多様化による充実 善光寺までの導線の整備</p>
---	---

資料 1

分類の記号 W :ワークショップで検討された意見
 K :次席者又は審議会委員 (他作業部会所属)の意見

政策		大項目 項目	分類
6-1			
行			
68	長野駅前の開発に統一性 一貫性がない。		W
69	長野駅前は長野市の顔だが、居酒屋が多く、昼間の活気があまりない。		W
70	長野駅前に、昼間に活動のある店舗を誘致する。		W
71	長野駅東口整備と善光寺口整備の役割分担を明確にする。		W
72	長野駅善光寺口は善光寺、東口は松代の玄関口として役割分担が必要である。		W
73	長野駅東口は、駅から志賀高原・白馬等へ行く拠点である。		W
74	長野駅東口は、バス等の利用者に分かりやすいまちづくりが課題である。		W
75	長野駅東口の区画整理事業が長期化し、権利者が高齢化している。		W
76	不況のため、長野駅東口の都市機能の集積やまちの再生が進まない。		W
77			
78	観光		
79			
80	長野駅から善光寺まで等、観光客に親切でわかりやすいまちづくりが必要である。		W
81	長野駅前に、善光寺までの大きな案内看板を整備する。		W
82			
83	オリンピック施設 跡地に付加価値をつけ、観光等に活用する。		W
84	オリンピックの財産、知名度を活用した、まちづくりが必要である。		W
85			
86	食の素材は良いが、名物 特長のある食べ物が少ないので、A級グルメを目指す。		W
87	人は、食べ物に関心があり 集まってくる。		W
88			
89	住環境		
90			
91	市中心部では、比較的インフラが整備されている。		K
92	中心部、郊外、合併地区等を比較すると、地域によりインフラ整備に格差がみられる。		K
93	財政上の問題を踏まえ、費用対効果を勘案しながらインフラ整備していく必要がある。		K
94			
95	旧集落等では、道路が狭あいで未整備である。		W
96	生活道路 (狭あい道路) の整備のスピードアップが必要である。		W
97			
98	住居表示により、住宅の位置が分かりやすくなり、日常生活の利便性が向上する。		W
99			

要約 (案)	作業部会意見 まとめ (案)	
長野駅前の開発に統一性 一貫性がない。	計画的な長野駅前の開発 長野駅東口と善光寺口の役割分担の 明確化 長野駅東口の区画整理事業の継続	
長野駅前に居酒屋が多い。		
長野駅東口と善光寺口の役割分担が必要である。		
長野駅東口の区画整理事業が継続している。		
観光客に親切でわかりやすいまちづくりが必要である。		観光客にわかりやすいまちづくり
オリンピックの財産 (施設 地名度等) がある。		オリンピックの財産の活用
名物 特長のある食べ物が少ない。		特長のある食の創出
中心部、郊外等でインフラ整備に格差がみられる。	費用対効果を勘案した、長野市全体のインフラ整備	
費用対効果を勘案した、インフラ整備が必要である。		
狭あいで未整備の道路がある。	生活道路の整備	
住居表示により、住宅の位置が分かりやすくなる。	分かりやすい住居表示の実施	

資料 1

分類の記号 W :ワークショップで検討された意見
 K :次席者又は審議会委員 (他作業部会所属)の意見

政策	いきいきと暮らせるまちづくりの推進		
6-1	大項目	項目	分類
100	ユニバーサルデザイン		
101			
102		バリアフリー新法のユニバーサルデザインの趣旨に基づき、社会には障害者・子ども・高齢者も皆が当たり前に生活している意識を持った都市整備が必要である。	W
103		長野駅東西地下通路で、自転車、東口から入っても、善光寺口で地上に出れない。	W
104		スムーズな移動の確保が大切である。	W
105		長野駅前周辺のバリアフリーの連続性が悪い。	W
106		民間建築物等を含め、歩道と車道など、建物との段差が多い。	W
107		長野市独自の歩道と車道の段差解消方法 (視覚障害者誘導用ガイド)について、国・県でできるだけ取り入れてもらえるように、アピールする。	W
108		公衆トイレが少ない。	W
109		車椅子等で利用できる公衆トイレを増やすべきである。	W
110			
111		市街地の車道と歩道の区分けを明確にし、歩行者が安全に歩けるようにする。	W
112			
113	まちづくりに関すること		
114			
115		「長野」には、様々な使い方がある。	W
116		長野駅周辺、篠ノ井、松代等、様々な地域があり、長野市全体を見渡した計画策定が必要である。	W
117			
118		長野市をどうしていくのかという、まちのイメージが定まっていない。	W
119		長野市のブランディングが必要である。	W
120		都市計画が現状の後追いになっている。	W
121			
122		まちに関心を持っている市民が少ないのではないか。	W
123		市民が分かりやすい広報が必要である。	W
124			
125	土地利用		
126			
127		土地利用のあいまいさが多くみられる。	W
128		中心市街地と住宅地域との住み分けが不明瞭である。	W
129		土地が不整形で土地利用しづらい。	W
130		適切な土地利用のため、土地の公有化が必要である。	W
131		財産権の保障により、土地の公有化は難しい。	W
132		安全・安心を確保するための私権の制限は必要である。	W

要約 (案)

作業部会意見 まとめ (案)

<p>ユニバーサルデザインの趣旨に基づいた、都市整備が必要である。</p> <p>長野駅周辺等のバリアフリーの連続性が悪い。</p> <p>歩道と車道、民間建築物等の建物との段差が多い。</p> <p>車椅子等で利用できる公衆トイレが少ない。</p> <p>車道と歩道の区分けを明確にする。</p>	}	<p>ユニバーサルデザインに基づいた、建築物・トイレ等の整備 歩道と車道等の段差解消 スムーズな移動の確保</p>
<p>長野市内には、様々な地域がある。 長野市全体を見渡した意識が必要である。</p> <p>まちのイメージが定まっていない。</p> <p>まちに関心ある市民が少ないのではないか。 広報が分かりにくい。</p>	}	<p>長野市内それぞれの地域特性をいかしたまちづくり 長野市全体を見渡した計画</p> <p>長野市の将来像、ランドデザインを明確にした計画</p> <p>市民に分かりやすい広報等による、まちづくりへの市民参画</p>
<p>土地利用があいまいである。</p> <p>安全確保等、適切な土地利用のために、土地の権利制限が必要な場合がある。</p>	}	<p>目的に応じた適切な土地利用</p>

市民フォーラム21 都市整備部会 ワークショップ開催日程及び参加者

作業部会 回数	日 時 会 場	内 容 ワークショップのテーマ : 政策	長野市総合計画審議会 作業部会 (市民フォーラム21) (敬称略)						長野市総合調整会議 第六部会 (都市整備分野関係)																
			石澤	野崎	吉田	石井	奥野	倉島	滝澤	南澤	宮澤	都市計 画課 長	庶務 課 長	情報 政策 課 長	交通 政策 課 長	障害 福祉 課 長	道路 課 長	維持 課 長	住宅 課 長	建築 課 長	建築 指導 課 長	区画 整理 課 長	まち づくり 推進 課 長	駅周 辺整 備局 課 長	
第3回	11月8日(月) 15:00~17:00 第2庁舎10階 会議室19	テーマ 政策6-1 いきいきと暮らせるまちづくりの推進																							
第4回	11月29日(月) 15:00~17:00 第2庁舎10階 会議室19	テーマ 政策6-2 まちを結ぶ快適なネットワークの形成																							